鹿嶋・神栖・潮来の地域おこし協力隊が伝える

巻頭特集

ここがスゴイよ!! 我が街のイチオシ!!

間もなくやって来る夏休み。コロナによる様々な制限が緩和され、
思いっ切りアクティブに満喫できる季節が戻って来ます。
そんな夏の観光シーズンは、身近な地元の魅力を再発見しながら遊び尽くしましょう!
今回の巻頭特集は鹿嶋市、神栖市、潮来市の地域おこし協力隊に我が街のイチオシをお聞きしました。

地域おこし協力隊とは?

地方自治体が都市地域からの移住者を「地域おこし協力隊員」として任命し、農業・漁業への従事、地域の魅力PR、お祭りやイベントの運営など、様々な地域協力活動を行いながらその地域への定住・定着を図る総務省の取り組み。令和3年度で約6,000名の隊員が全国で活動中。令和6年度には8,000人に増やす目標を掲げ、全国的に地域おこし協力隊の強化を行っています。

鹿嶋市 kashima city

海・公園・神宮で自然や歴史をまるごと満喫!

豪州での滞在歴があり、観光業界で活躍していた大澤智枝さん。生まれ故郷の東京に近く、憧れのサーフィンができる海があり、観光に特化した協力隊を募集していた鹿嶋市に「これだ!」と応募。2021年4月からJRや茨城県とコラボした観光ツアー、街巡りを促進するサイクリングマップの作成などを担当し、新たな体験型イベントの企画をしています。

そんな大澤さんがオススメする鹿嶋のスポットとは?「まずは海! 3年ぶりにオープンする海水浴場を満喫して下さい。大野潮騒はまなす公園は、海に向かって滑り降りる『ジャンボローラーすべり台』や、360度のパノラマが楽しめる宇宙展望塔にある、昭和レトロ感たっぷりの『プラネタリウム』がオススメです」。そして鹿島神宮は、お参りだけではない楽しみ方も。「樹そうと呼ばれる森がとても神秘的で、森林浴にもぴったり!7月からはボランティアガイドも再開される(利用1週間前までに鹿嶋市観光協会への予約が必要)ので、より深く歴史を学ぶことができますよ」とアドバイスしています。

今後は鉾田市とコラボした体験型の日帰りツアーやテーマの一つであるサイクリングでの街おこしを仕掛け中。これまでの観光業で培った知識と経験をフル活用して、「多くの人々に街を周遊して貰う企画を仕掛けていきたいです」と奮闘しています。

おすすめはココ!

大野潮騒はまなす公園

全長154mのジャンボローラーすべり台は迫力満点!大人も楽しめます。

移住して一番衝撃を受けたこと!

夜が真っ暗なこと!移住初日は高速道路にすら街灯がないことに不安になりました(笑)。今では、夜でも明るい東京では感じたことのない静かで豊かな暗さに心が落ち着くようになり、空いっぱいに広がる冬の星の美しさを堪能しています。

大澤智枝さん

《お問い合わせ先》
鹿嶋市 経済振興部 商工観光課
住所:鹿嶋市平井1187-1
TEL:0299-82-2911

Instagramで鹿嶋市の地域おこし協力隊の活躍をCHECK!

神栖市 kamisu city

名産あり!飲食店あり!SNS映えスポットも豊富!

サッカーのコーチ、動画撮影や編集など多彩なスキルを持つ鳥取県出身の竹中郁人さんは、カミスココくんや故郷の雰囲気に似た神栖に惹かれ、今年3月から協力隊に就任。360度インドアビューなど、新たなデジタル発信によって市内の飲食店を中心に街をPRしています。

竹中さんの我が街自慢は、まず名産のピーマン!「高品質なピーマンを栽培する農家が市内702軒もあり、収穫体験を実施している所も。規格外のジャンボサイズが入手できるのも神栖ならでは!」。加えて、飲食店数の多さも特長。この夏は国道124号沿いに待望の新スポット「神栖横丁」もオープン予定。7月の大潮祭、8月のきらっせ祭り、9月かみす舞っちゃげ祭りも見逃せないイベントです。神栖はSNS映えスポットも多く、中でも竹中さんが感動したのは「須田浜海岸の夕日」。そして、「ドローンの飛行可能区域が多く、釣りやサーフィンなどの撮影スポットとしてオススメ」と語っていました。

竹中さんは今後、「周辺地域との広域連携によって、宿泊を促進する体験型イベントを行ったり、都市部の学生と神栖の企業・農家をつなぐ地域コーディネーターも挑戦してみたいです」と意欲を語っています。

おすすめはココ!

須田浜海岸の夕日

広大な空と辺り一面が真っ赤な世界になる夕時がおすすめです!

移住して一番衝撃を受けたこと!

民家の土地が広くて、いただき物が多い!敷地内に2軒の家が建っていることも普通でビックリ。食料や物を貰う機会が多く、私も特産のピーマンをよく手土産にしています。人との距離感が近い地域だと感じていますね。

竹中郁人さん

《お問い合わせ先》
神栖市 経済産業部 観光振興課
住所:神栖市溝口4991-5
TEL:0299-90-1217

Instagramで神栖市の地域おこし協力隊の活躍をCHECK!

潮来市 itako city

潮来をベネチアに!花・音楽・祭で賑わう水郷の街!

大学の同期という小林さんと髙橋さん。小林さんは起業や地域振興をテーマに、昨年度は「高校生レストラン」の運営に参加、現在は癒しをテーマとした宿泊プランや川でのサップ事業の展開を考えています。髙橋さんは広告やデザイン業務を担当しながら、特技の和楽器を通じて地域活性に寄与しています。

そんな二人が活動する潮来は、四季折々を彩る花が見どころの一つ。「潮来最大イベントのあやめまつりの他にも、6月から7月にかけて二本松寺のあじさい、秋の上戸川沿いのコスモスは育成期間が過ぎると摘み取り放題なんですよ」と髙橋さん。そして祭りが盛んで、「地区単位で大小様々なお祭りが開かれ、特に山車が全て集まる祇園祭は見応え充分」。水郷の街ゆえに、川に関するイベントも豊富で「定期運行されるろ舟、川のサップイベントも一度お試しあれ!」と小林さん。8月に行われる潮音寺の万燈会は、幽玄な光景が一見の価値あり!とのこと。

「潮来をベネチアのような水の街に!」と掲げる小林さん。今後サップ事業にも注力しながら、潮来の一大観光地化に向けて取り組む予定。髙橋さんは「どの世代も街に参画しやすくなる広報誌のリニューアルや、三味線など和楽器を活かした芸能文化にアプローチしていきたいです」と意気込みを語っています。

おすすめはココ!

水郷潮来あやめ園

あやめまつりの時期は、嫁入り舟の運行もある激アツスポットです!

小林正英さん

髙橋将行さん

移住して一番衝撃を受けたこと!

白米の量がすごく多い!「どこまで食べさせるのか?!」と驚く程、市内の飲食店はご飯が大盛り。オススメされる店もご飯の量が多めの店ばかり。期間限定の飲食イベント「高校生レストラン」でも米の量に関する指摘が多かったです(笑)

《お問い合わせ先》
潮来市 市長公室 企画調整課
住所:潮来市辻626
TEL:0299-63-1111

Instagramで潮来市の地域おこし協力隊の活躍をCHECK!

文/米村優子　写真/かしす企画編集室　写真協力/地域おこし協力隊のみなさん